



## 南国バスラストラン



### この風景がなくなりました

令和4年3月31日、南国バスの愛称で親しまれ、80年の永きに渡り親しまれ、住民の足、又時間を知る時計わりとなって運行してきた木場線のバスがなくなりました。

僕の小さいころ、盆正月は臨時バスまで走っていました。

当日「南国バス感謝ありがとう」セレモニーを開催しました。

地元の人、市役所の人、小学校の生徒、100人以上が参加しました。

市長、南国バス部長、あいら交通社長各氏が来賓として挨拶されました。

その前のバスには小学校の生徒、付き添いの大人で木場まで最後の乗車体験をしました。

子供たちは整理券とか乗車賃を払うことは初めてだったとの事です。



南国交通、あいら交通、両社にその長年の功績に対し感謝状と花束が贈呈されました



そして、かつて南国バスの車掌として乗車されていましたが岸園洋子さん、刈谷恵美子さんより花束が贈呈されました。現在は全部のバスがワンマンになり、車掌という、職業もなくなって久しいですが、久しぶりに車掌さんという言葉に耳にし、懐かしさを感じました。

**首からカバンを下げ、手には切符を切るハサミを持って……**

会場では子供たちが太鼓の演奏をしてくれました  
何時間聞いても子供たちの迫力ある太鼓の音。  
一糸乱れぬ演奏は素晴らしいと思う



そしてとうとう最終のバスが到着しました。

### 16時47分発 帖佐駅行き

あいら交通佐藤社長さんから運転手さんに花束の贈呈です。

バスの発車に合わせて、子供たちが迫力ある太鼓の演奏でバスを送ってくれました。



全員で記念撮影をした後、バスは終点帖佐駅に向けて発車しました。

雨の中走り去りゆくバスを全員で見送りました。

バスと一緒に長い歴史に幕を閉じました。

(なくなって初めて気づく……)



## 本当に長い間ありがとう、ご苦労様でした